



# おとひめ



山口キャラクター  
「おとちゃん」と「かめはかせ」

令和7年5月23日(金)

## 「話す・書く」「多様な学び・豊かな学びの場の設定」に力を入れています

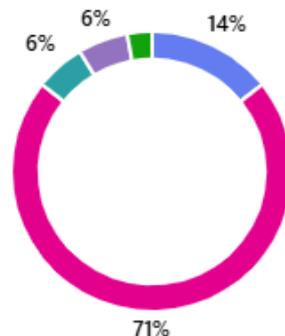
山口小学校では「山口小の一点突破」称し、「話す、書く」＝「自己表出する」取組を大切にしています。具体的には、授業や全校の集まりの中で自分の考えを話したり、自分がみつけた仲間のよいところを伝え合ったりする機会を意図的に設定し、自分の思いや考えを話す力を高めようとしています。また、タブレットで簡易的に済ます学習が増えている時代にあっても、ノートに自分の考えを書くことを大事にしています。ではなぜ「話す・書く」に力を入れているかということ、子どもたちが将来大きな集団の中で生活することになったとき、周りの雰囲気に流されることなく自分の考えをもち、物怖じすることなく自分の考えを伝えることができるようにと願っているからです。ごく近い将来で言えば、子どもたちが中学校に進学すると、今の何倍もの人数の中で生活することになります。そんな大きな集団の中でも、周囲と協調しながら、自分の思いや考えをもって必要なことは主張し、たくましく生活していったほしいとの思いをもっているのです。

ただ、ご存じのように山口小学校は小規模な学校です。そのため、自己表出をすることを大切にしようとしても、場面や対象がマンネリ化したり限定的になったりしてしまいます。そこで、新しい発見や新しい出会いに恵まれるよう、多様な学びの場や豊かな体験の場を意図的に設定することも大切にしています。このことは、前号でも少し触れたところです。

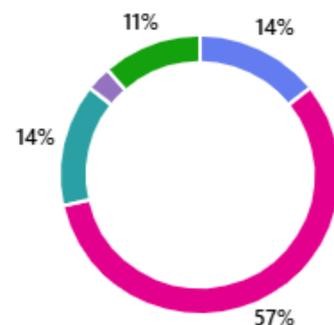
さて、このように「話す・書く」「多様な学び・豊かな学びの場の設定」に力を入れている山口小ですが、保護者の皆様や地域の皆様にはどれくらい伝わっているだろうかと思い、前号でアンケートをお願いしました。アンケートには、保護者の皆様だけでなく、地区の皆様にもお答えいただけました。誠にありがとうございました。結果は、以下の通りでした。

山口小学校は、多様な学びの場、豊かな体験の場を十分に設定していると思いますか。

- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない



山口小学校は、「多様な他者との関わりの中で自信をもって自己表出する力」を子どもたちに育てていると思いますか。



アンケートの結果から、どちらの質問も概ね肯定的な回答が多いことがわかります。学校の教育活動にご理解をいただき、心より感謝いたします。ただ、「自己表出する力」を育てているかどうかとの問いについては、「どちらかというと思わない」「わからない」の割合がやや多いと感じます。そこで、まずは学校がどんな取り組みをしているかを知っていただく必要があると考えました。別紙「わくわく山口小タイム（オープンスクール）第1回案内」をご覧ください。今年度は、保護者の皆様や地域の皆様に気軽に参観していただける機会を大幅に増やしました。ぜひ、学校に来ていただき、実際の山口小の子どもたちや授業の様子をご覧ください。自己表出する力は目に見えて高まるものではなく、遅々とした成長でしかありませんが、子どもたちがどのような場で、どのようにがんばろうとしているのかは見ていただければと思います。



校長室のバルコニーにツバメが遊びに来てくれました。保護者の皆様・地域の皆様のご来校もお待ちしております。